

第34回 第1期 SIP 自動走行システム推進委員会
第1回 第2期 SIP 自動運転 推進委員会
議事次第

平成30年 4月 26日(木)
10時40分～12時00分
於：中央合同庁舎4号館4階
共用第2特別会議室

【議題（非公開）】

1. 第1期SIP構成員の交代
2. 第2期SIP課題及びPDの決定
3. 研究開発計画（概要）（案）
4. 運営体制（案）
 - ・新TFの設置
5. 今後のスケジュール

○次回会議予定：5月30日(水) 10:00～12:00 @中央合同庁舎8号館6階 623会議室

【配布資料】

資料34-1	自動走行システム推進委員会構成員	
資料34-2-1	SIP第2期の対象課題、プログラムディレクター（PD）の一覧	
資料34-2-2	SIP第2期が満たすべき要件	
資料34-3-1	第2期SIP自動運転 研究開発計画の概要（案）	【非公開資料】
資料34-3-2	第2期SIP自動運転 大日程（案）	【非公開資料】
資料34-4-1	平成30年度 第1期SIP、第2期SIP 運営体制（案）	【非公開資料】
資料34-4-2	2020 東京臨海部実証実験タスクフォース設置について（案）	【非公開資料】
資料34-4-3	2020 東京臨海部実証実験 TF 構成員（案）	【非公開資料】
資料34-5	平成30年度SIP第1期自動走行システム・第2期自動運転スケジュール概要(案)	【非公開資料】
参考資料1	自動走行システム推進委員会(第33回)議事録（電子配布）	【非公開資料】
参考資料2	平成30年度戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の実施方針	
参考資料3	戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期（平成29年度補正予算措置分）の実施方針	
参考資料4	第1期SIP「自動走行システム」研究開発計画	

平成 30 年 4 月 26 日

自動走行システム推進委員会構成員

【プログラムディレクター（PD）】

トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 常務理事 葛巻 清吾

【サブPD】

政策研究大学院大学 教授 有本 建男
 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー 福島 正夫
 日産自動車株式会社 グローバル技術渉外部 ITS 技術顧問 杉本 洋一
 株式会社本田技術研究所 四輪 R & D センター 上席研究員

【構成員】

東京工業大学 大学院 理工学研究科 教授 朝倉 康夫
 ITS Japan 専務理事／国際連携 WG 主査 天野 肇
 筑波大学 副学長・理事／システム実用化 WG 主査 稲垣 敏之
 自動車ジャーナリスト 岩貞 るみこ
 東京大学 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 教授 大口 敬
 ／次世代都市交通 WG 主査 小花 貞夫
 電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 教授 加藤 晋
 産業技術総合研究所 首席研究員
 自動運転基準化研究所 所長
 （自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車研究部 部長） 河合 英直
 日本自動車部品工業会 住友電気工業(株) 新製品企画部 技術企画部 主幹 教野 秀樹
 第 5 世代モバイル推進フォーラム 参与(標準化総括) 佐藤 孝平
 自動車ジャーナリスト 清水 和夫
 スズキ株式会社 開発本部 本部長 高柴 久則
 電子情報技術産業協会 三菱電機(株) 開発本部 役員技監 田中 健一
 日本自動車研究所 代表理事 研究所長 永井 正夫
 電子情報技術産業協会 富士通(株) Mobility IoT 事業本部 事業企画統括部 マネージャー 畑瀬 勉
 株式会社本田技術研究所 四輪 R & D センター 上席研究員（特任） 横山 利夫

内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官 八山 幸司
 警察庁 長官官房 参事官 堀内 尚
 総務省 総合通信基盤局 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 室長 中里 学
 経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 室長 垣見 直彦
 国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 室長 西尾 崇
 国土交通省 自動車局 技術政策課 国際業務室 室長 佐橋 真人

【オブザーバー】

東京都 青少年・治安対策本部 治安対策担当部長 高野 豪
 日本自動車工業会 技術統括部長 三井 宏紀

【管理人】

新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI 部長 弓取 修二

【事務局】

内閣府 大臣官房審議官(科学技術・イノベーション担当) 黒田 亮
 内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 企画官 伊沢 好広
 内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 政策調査員 竹馬 真樹

自動走行システム システム実用化 WG 構成員

【主査】		
筑波大学	副学長・理事（総務・人事担当）	稲垣 敏之
【副主査】		
株式会社トヨタ IT 開発センター	代表取締役社長	今井 孝志
株式会社本田技術研究所	R&D センターX 主任研究員	鵜浦 清純
トヨタ自動車株式会社	コネクティッド統括部 主査	金光 寛幸
【構成員】		
ITS Japan	常務理事 自動運転プロジェクトリーダー	内村 孝彦
マツダ株式会社	R & D 技術管理本部 開発調査部 主幹	小川 博文
筑波大学	国際産学連携本部教授	川本 雅之
電子情報技術産業協会	京セラ（株）研究開発本部 システム研究開発統括部 研究企画部 シニアエキスパート	村上 和弘
株式会社SUBARU	技術統括本部 上級専任部長	荻原 浩
名古屋大学	未来社会創造機構 教授／地図構造化 TF 主査	高田 広章
三菱自動車工業株式会社	車両技術開発本部 ADAS&コミュニケーション開発部 担当部長	伊藤 政義
日本自動車部品工業会	アイシン精機(株) 走行安全制御技術部 主査	村上 裕一
ダイハツ工業（株）	開発部機能部品開発室 主担当員	山田 憲一
内閣官房	情報通信技術総合戦略室 参事官	八山 幸司
警察庁	長官官房 参事官	堀内 尚
総務省 総合通信基盤局	移動通信課 新世代移動通信システム推進室 室長	中里 学
経済産業省 製造産業局	自動車課 ITS・自動走行推進室 室長	垣見 直彦
国土交通省 道路局	道路交通管理課 ITS 推進室 室長	西尾 崇
国土交通省 自動車局	技術政策課 国際業務室 室長	佐橋 真人
【オブザーバー】		
内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付	交通安全対策担当 参事官	近藤 共子
【事務局】		
内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付	企画官	伊沢 好広
内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付	政策調査員	竹馬 真樹

自動走行システム 次世代都市交通 WG 構成員

【主査】

東京大学 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 教授 大口 敬

【副主査】

筑波大学 国際産学連携本部教授 川本 雅之
 東京大学 空間情報科学研究センター 客員研究員 中條 寛

【構成員】

日野自動車株式会社 技術研究所 主査 榎本 英彦
 株式会社電通パブリックリレーションズ 営業推進室 シニア・コンサルタント 大日方 邦子
 トヨタ自動車株式会社 コネクティッド統括部 主査 金光 寛幸
 スズキ株式会社 情報・予防安全開発部 第二課長 今野 裕之
 いすゞ自動車株式会社 バス商品企画・設計部 チーフエンジニア 鈴木 隆史
 金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系 教授（系長） 高山 純一
 電子情報技術産業協会 東芝インフラシステムズ(株) 技術主幹 中村 順一
 横浜国立大学 大学院 理事・副学長 中村 文彦
 トヨタ自動車株式会社 オリンピック・パラリンピック部 副部長（日本自動車工業会）
 ／2020 東京臨海部実証実験 TF 主査 沼田 泰
 日本自動車部品工業会 矢崎総業(株) 車載技術開発センター 部長 濱口 弘樹
 ヤマハ発動機株式会社 技術本部研究開発総括部 山下 典之
 本田技研工業株式会社 経営企画統括部環境安全企画部 渉外担当部長 山地 茂

東京都 都市整備局 交通政策担当部長 部長 森 高志
 東京都 青少年・治安対策本部 治安対策担当部長 高野 豪
 東京都 建設局 道路保全担当部長 田中 慎一
 警視庁 交通部 理事官（交通規制課） 坂倉 英一
 警視庁 交通部 理事官（交通管制課） 五十嵐 吉永

内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官 八山 幸司
 警察庁 長官官房 参事官 堀内 尚
 総務省 総合通信基盤局 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 室長 中里 学
 経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 室長 垣見 直彦
 国土交通省 総合政策局 技術政策課 技術開発推進室 室長 植村 忠之
 国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 室長 西尾 崇
 国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室 室長 山本 悟司
 国土交通省 自動車局 技術政策課 国際業務室 室長 佐橋 真人

【事務局】

内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 企画官 伊沢 好広
 内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 政策調査員 杉江 薫

自動走行システム 国際連携 WG 構成員

【主査】

I T S J a p a n	専務理事	天野 肇
-----------------	------	------

【副主査】

I T S J a p a n	常務理事 自動運転プロジェクトリーダー	内村 孝彦
-----------------	---------------------	-------

【構成員】

自動車技術会	自動運転標準化検討会 委員長	赤津 洋介
自動車ジャーナリスト		岩貞 るみこ
電気通信大学 大学院	情報理工学研究科 教授	小花 貞夫
日本自動車研究所	I T S 研究部 主席研究員	香月 伸一
自動運転標準化研究所	所長	
／自動車技術総合機構	交通安全環境研究所 自動車研究部 部長	河合 英直
株式会社本田技術研究所	四輪 R & D センター 主任研究員	齊藤 徹
自動車ジャーナリスト		清水 和夫
日本自動車部品工業会	(株)デンソー 国際標準推進室 担当次長	菅沼 賢治
日産自動車株式会社	環境・安全技術渉外部 シニアエンジニア	中島 雄二
電子情報技術産業協会	沖コンサルティングソリューションズ(株) シニアマネージングコンサルタント	星 佳典
電波産業会	専務理事	松井 房樹
トヨタ自動車株式会社	先進技術開発カンパニー先進技術統括部 技範	南方 真人
内閣官房	情報通信技術総合戦略室 参事官	八山 幸司
警察庁	長官官房 参事官	堀内 尚
総務省 総合通信基盤局	移動通信課 新世代移動通信システム推進室 室長	中里 学
経済産業省 製造産業局	自動車課 ITS・自動走行推進室 室長	垣見 直彦
経済産業省 産業技術環境局	国際標準課 統括基準認証推進官	中野 裕二
国土交通省 道路局	道路交通管理課 I T S 推進室 室長	西尾 崇
国土交通省 自動車局	技術政策課 国際業務室 室長	佐橋 真人

【準構成員】国際連携テーマ別窓口 ※メイン担当には○を記載、サブ担当は無印

<Dynamic Map>		
○東京大学	空間情報科学研究センター 客員研究員	中條 覚
<Connected Vehicles>		
○マツダ株式会社	R&D 技術管理本部開発調査部 主幹	小川 博文
<Human Factors>		
○産業技術総合研究所	自動車ヒューマンファクター研究センター長	北崎 智之
<Impact Assessment>		
○日本自動車研究所	安全研究部安全基盤グループ長	内田 信行
同志社大学大学院	技術・企業・国際競争力研究センター長(教授)	三好 博昭
<Next generation Transport>		
○筑波大学	国際産学連携本部教授	川本 雅之
<Security>		
○株式会社トヨタ IT 開発センター	代表取締役社長	今井 孝志

【事務局】

内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 企画官	伊沢 好広
内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 政策調査員	岡山 藤治

平成 30 年 4 月 26 日

地図構造化タスクフォース構成員

【主査】

名古屋大学 未来社会創造機構 教授 高田 広章

【構成員】

東京都市大学 工学部 都市工学科 准教授 今井 龍一
東京大学 空間情報科学研究センター 教授 柴崎 亮介
ISO/TC204/WG3 国際コンビーナ 柴田 潤
株式会社SUBARU 技術統括本部 専任部長 東宮 真左人
東京大学 空間情報科学研究センター 客員研究員 中條 覚
一般財団法人日本デジタル道路地図協会 (DRM) 企画調査部長 長谷川 金二
日産自動車株式会社 グローバル技術渉外部 ITS 技術顧問 福島 正夫

内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官補佐 荻久保 雅人
警察庁 交通局 交通企画課 課長補佐 泉本 央
総務省 総合通信基盤局 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 課長補佐 川崎 大佑
経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 課長補佐 田中 佑典
経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 課長補佐 永田 邦博
国土交通省 道路局 高度道路交通システム (ITS) 推進室 課長補佐 上原 光太郎
国土交通省 国土技術政策総合研究所 高度道路交通システム研究室 主任研究官 大嶋 一範

【オブザーバー】

国土交通省 国土地理院 企画部 地理空間情報企画室長 石関 隆幸

【事務局】

内閣府 政策統括官 (科学技術・イノベーション担当) 付 企画官 伊沢 好広
内閣府 政策統括官 (科学技術・イノベーション担当) 付 政策調査員 竹馬 真樹

大規模実証実験タスクフォース構成員

【主査】

トヨタ自動車株式会社	先進技術開発カンパニー 常務理事	葛巻 清吾
------------	------------------	-------

【構成員】

政策研究大学院大学 ／科学技術振興機構	教授 研究開発戦略センター 上席フェロー	有本 建男
日産自動車株式会社	グローバル技術渉外部 ITS 技術顧問	福島 正夫
株式会社本田技術研究所	四輪 R & D センター 上席研究員	杉本 洋一

(ダイナミックマップ)

日産自動車株式会社	グローバル技術渉外部 ITS 技術顧問	福島 正夫
-----------	---------------------	-------

(HMI)

株式会社本田技術研究所	R&D センターX 主任研究員	鵜浦 清純
-------------	-----------------	-------

(セキュリティ)

株式会社トヨタ IT 開発センター	代表取締役社長	今井 孝志
-------------------	---------	-------

(歩行者事故低減)

トヨタ自動車株式会社	コネクティッド統括部 主査	金光 寛幸
------------	---------------	-------

(次世代都市交通)

筑波大学	国際産学連携本部教授	川本 雅之
------	------------	-------

内閣官房	情報通信技術総合戦略室 参事官補佐	大澤 良樹
------	-------------------	-------

内閣府	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 参事官(社会システム基盤)付 企画官	伊沢 好弘
-----	--	-------

警察庁 交通局	交通企画課 課長補佐	泉本 央
---------	------------	------

総務省 総合通信基盤局	移動通信課 新世代移動通信システム推進室 課長補佐	川崎 大佑
-------------	---------------------------	-------

経済産業省 製造産業局	自動車課 ITS・自動走行推進室 課長補佐	田中 佑典
-------------	-----------------------	-------

国土交通省 道路局	高度道路交通システム (ITS) 推進室 課長補佐	上原 光太郎
-----------	---------------------------	--------

国土交通省 自動車局	技術政策課	
------------	-------	--

【事務局】

新エネルギー・産業技術総合開発機構		
-------------------	--	--

SIP第2期の対象課題、プログラムディレクター(PD)の一覧

平成30年4月20日

内閣府(科学技術・イノベーション担当)

NO	分野	課題名	課題の内容	内定者	肩書
1	サイバー空間基盤技術 (PRISMサイバー空間基盤技術の中核プロジェクト)	ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術	本分野における国際競争力を維持・強化するため、世界最先端の、実空間における言語情報と非言語情報の融合によるヒューマン・インタラクション技術(感性・認知技術開発等)、データ連携基盤、AI間連携を確立し、社会実装する。	安西 祐一郎(あんざい ゆういちろう)	慶應義塾 学事顧問、同大学名誉教授
2	フィジカル空間基盤技術 (PRISMフィジカル空間基盤技術の中核プロジェクト)	フィジカル領域デジタルデータ処理基盤技術	本分野における国際競争力を維持・強化するため、高機能センシング、高効率なデータ処理及びサイバー側との高度な連携を実現可能とする世界最先端の基盤技術を開発し、社会実装する。	佐相 秀幸(さそう ひでゆき)	㈱富士通研究所 顧問
3	セキュリティ (サイバー・フィジカル・セキュリティ)	IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ	セキュアな Society5.0 の実現に向けて、様々なIoT機器を守り、社会全体の安全・安心を確立するため、中小企業を含むサプライチェーン全体を守ることに活用できる世界最先端の『サイバー・フィジカル・セキュリティ対策基盤』を開発するとともに、米欧各国等との連携を強化し、国際標準化、社会実装を進める。	後藤 厚宏(ごとう あつひろ)	情報セキュリティ大学院大学 学長
4	自動走行	自動運転(システムとサービスの実用化)	自動運転に係る激しい国際競争の中で世界に伍していくため、自動車メーカーの協調領域となる世界最先端のコア技術(信号・プローブ情報をはじめとする道路交通情報の収集・配信などに関する技術等)を確立し、一般道で自動走行レベル3を実現するための基盤を構築し、社会実装する。	葛巻 清吾(くずまき せいご)	トヨタ自動車株式会社 常務理事
5	材料開発基盤	統合型材料開発システムによるマテリアル革命	我が国の材料開発分野での強みを維持・発展させるため、材料開発コストの大幅低減、開発期間の大幅短縮を目指し、世界最先端の逆問題マテリアルズインテグレーション(性能希望から最適材料・プロセス・構造を予測)を実現・社会実装し、超高性能材料の開発につなげるとともに信頼性評価技術を確立する。	岸 輝雄(きし てるお)	東京大学 名誉教授 新構造材料技術研究組合 理事長
6	光・量子技術基盤	光・量子を活用したSociety5.0実現化技術	Society5.0を実現する上での極めて重要な基盤技術であり、我が国が強みを有する光・量子技術の国際競争力上の優位をさらに向上させるため、光・量子技術を活用した世界最先端の加工(レーザー加工等)、情報処理(光電子情報処理)、通信(量子暗号)の開発を行い、社会実装する。	今次募集では、適任者がいなかったため再公募	
7	バイオ・農業	スマートバイオ産業・農業基盤技術	国際競争がさらに激化することが予想される本分野において世界に伍していくため、ビッグデータを用いたゲノム編集等生物機能を高次に活用した革新的バイオ素材、高機能製品の開発、スマートフードシステム、スマート農業等に係る世界最先端の基盤技術開発と社会実装を行う。	小林 憲明(こばやし のりあき)	キリン(株) 取締役常務執行役員 兼 キリンホールディングス(株) 常務執行役員
8	エネルギー・環境	脱炭素社会実現のためのエネルギーシステム	脱炭素社会実現のための世界最先端の重要基盤技術(炭素循環、創エネ・省エネ、エネルギーネットワーク、高効率ワイヤレス送電技術等)を開発し、社会実装する。	柏木 孝夫(かしわぎ たかお)	東京工業大学 特命教授・名誉教授 先進エネルギー国際研究センター長
9	防災・減災 (PRISM防災・減災技術の中核プロジェクト)	国家レジリエンス(防災・減災)の強化	国家全体の災害被害を最小化するため、衛星、AI、ビッグデータを活用し、避難誘導システム、地方自治体、住民が利活用できる災害情報共有・支援システムの構築等を行い、社会実装する。	堀 宗朗(ほり むねお)	東京大学 地震研究所 巨大地震津波災害予測研究センター 教授・センター長
10	健康・医療	AIホスピタルによる高度診断・治療システム	AI、IoT、ビッグデータ技術を用いた『AIホスピタルシステム』を開発・構築することにより、高度で先進的な医療サービスの提供と、病院における効率化(医師や看護師の抜本的負担軽減)を実現し、社会実装する。	中村 祐輔(なかむら ゆうすけ)	シカゴ大学医学部内科・外科教授、個別化医療センター副センター長
11	物流(陸上・海上)	スマート物流サービス	サプライチェーン全体の生産性を飛躍的に向上させ、世界に伍していくため、生産、流通、販売、消費までに取り扱われるデータを一気通貫で利活用し、最適化された生産・物流システムを構築するとともに、社会実装する。	田中 従雅(たなか よりまさ)	ヤマトホールディングス(株) 執行役員 IT戦略担当
12	海洋	革新的深海資源調査技術	我が国の排他的経済水域内にある豊富な海洋鉱物資源の活用を目指し、我が国の海洋資源探査技術を更に強化・発展させ、本分野における生産性を抜本的に向上させるため、水深2000m以深の海洋資源調査技術を世界に先駆けて確立・実証するとともに、社会実装する。	石井 正一(いしい しょういち)	石油資源開発(株) 代表取締役副社長

注: 課題名及び課題の内容は、今後、プログラムディレクターが策定する研究開発計画の作成の際に変更される場合があります。
(PD内定者は平成30年4月下旬に正式決定されます。)

S I P 第 2 期が満たすべき要件

- ① Society 5.0 の実現を目指すもの。
- ② 生産性革命が必要な分野に重点を置いていること。
- ③ 単なる研究開発だけではなく社会変革をもたらすものであること。
- ④ 社会的課題の解決や日本経済・産業競争力にとって重要な分野
- ⑤ 事業化、実用化、社会実装に向けた出口戦略が明確（5年後の事業化等の内容が明確）
- ⑥ 知財戦略、国際標準化、規制改革等の制度面の出口戦略を有していること。
- ⑦ 府省連携が不可欠な分野横断的な取り組みであること。
- ⑧ 基礎研究から事業化・実用化までを見据えた一貫通貫の研究開発
- ⑨ 「協調領域」を設定し「競争領域」と峻別して推進（オープン・クローズ戦略を有していること。）
- ⑩ 産学官連携体制の構築、研究開発の成果を参加企業が実用化・事業化につなげる仕組みやマッチングファンドの要素をビルトイン。

本要件は、平成30年2月22日（木）に開催された第75回S I Pガバニングボードで承認され、3月9日（金）～3月23日（金）まで行った内閣府プログラムディレクターの公募要領で示した要件を再掲しています。